

Sain

Thank You
20th
anniversary

夏雲の向こうに待つ時へ

健康な住まいと
暮らしのサイン

2024 SUMMER

81

KAIKEN

SAiN 2024 SUMMER 81

サイン20周年に感謝して2024年夏号をお届けいたします
 長かったようで短かったような7,300日
 一冊一冊のSAiNの一ページ一ページに思い出があります
 そのうちのわずかでも読者のみなさんと分かち合うことができたなら
 これ以上うれしいことはありません
 今号から少しずつ新しくなるSAiNをあらためてよろしくお願いいたします

SAiN 81号 目次

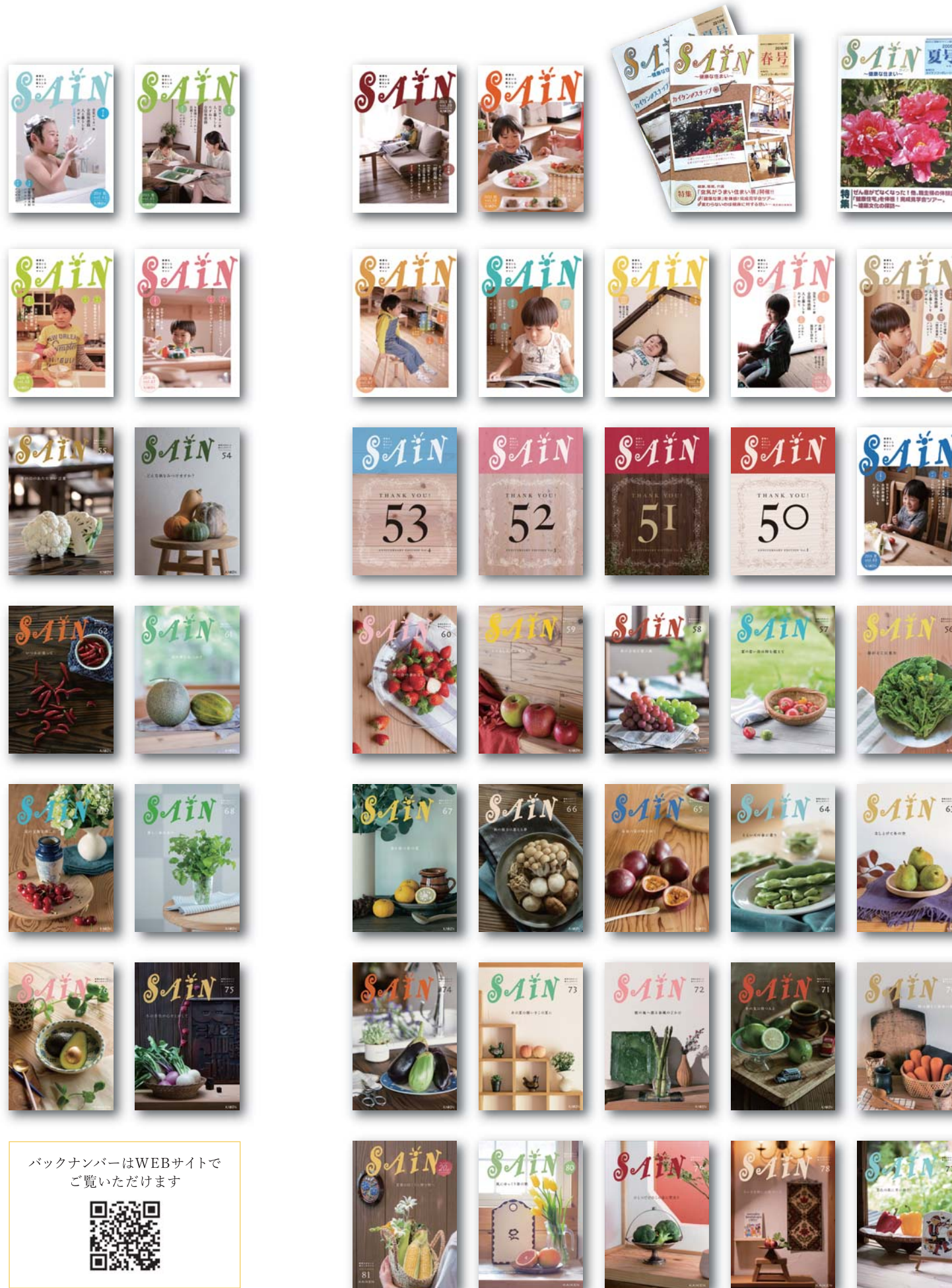
- 1 | SAIN20周年感謝
- 3 | [SAiN特集]
KAIKEN POSITION 私たちが提供できる価値
- 5 | 空気がうまい家 全国体感録
自然の恵みの心地よさと経年変化を体感できる森の家
- 9 | 施主 渋谷浩一郎様エッセイ
四季めぐる空気がうまい家
- 11 | おもやの食卓
夏の旬食材 とうもろこし
- 14 | SAiNエッセイ
続けることの喜び
- 15 | 住まいと健康のいい関係
「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない？
- 16 | カイケンブランド
健康自然建材
- 17 | こだわりプレゼント・編集ほのぼの後記

COVER STORY



「時を超える価値のある暮らし」というテーマでお届けしている『SAiN』。
 2024年夏号の表紙は、夏の旬食材「とうもろこし」と、アンティークの陶板です。
 かわいいオーバル（卵形）のかたちと、花の青がきれいな陶板は、1925年にスウェーデンで創立されたGABRIEL（カブリエル）社製のもの。
 職人によって一つひとつハンドペイントされ、手作りならではのぬくもりが感じられます。
 美味しいものとお気に入りのもので、夏の暑さにも負けず、心も体も健やかにお過ごしください。

『SAiN』のお申し込みなどはWEBサイトで。
<https://e-kaiken.com/how/sain/>
 © KAIKEN CORPORATION



バックナンバーはWEBサイトで
ご覧いただけます

おかげさまでSAiNは
 創刊20周年を迎えることができました
 ありがとうございます



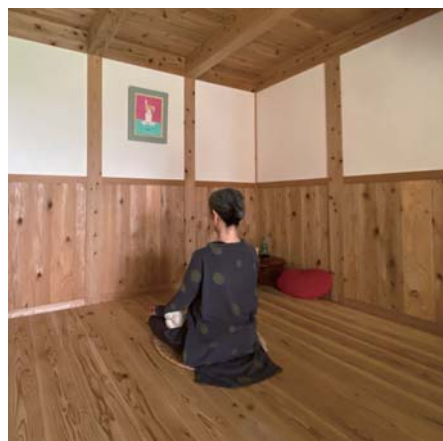
KAIKEN POSITION

私たちが
提供できる価値



Sain 特集

今号の特集は、Sain 20周年ということで、あらためてカイケンの原点を見つめ直し、私たちがみなさまに提供できる価値を「カイケン・ポジション」として、対比するキーワードでお伝えいたします。
Sain 67号の『Sain エッセイ』でも取り上げさせていたいただきましたが、今号では私たちの考えに寄り添うキーワードをもっと深掘りして、みなさまと共有させていただきたいと思っています。



精神的

「物質的」というより「精神的」。
カイケンコーポレーション設立の原点には、「シックハウスやアレルギーなど、住まいの環境問題で苦しんでいる人々を一人でも多く救いたい」という思いがありました。

体感

「計測」というより「体感」。
例えば「C値（気密性能）」、「U A値（断熱性能）」、「耐震等級」など、住まいの性能を表す数値があります。
もちろん、きちんとしたデータを住宅性能の指針とすることは大切ですし、カイケンでも取り組んでいます。私たちがより大切にしているのは、みなさまご自身で実際に空気がうまい家を「体感」していただくことです。
自然素材の家づくりの素晴らしさを実感していただくには、目には見えない「空気」や「香り」、そして柱や床に手や足で触れたときの「感触」をご体感いただくことが、いちばんです。



人間の内部である精神面

文化的

「文明的」というより「文化的」。
技術や組織のシステム化など人間の外部にあるもの(文明 civilization)より、人間の内部である精神面(文化 culture)を大切にしたいと考えます。
時代の潮流に左右される文明的なものではなく、時代を超えて普遍的な価値を持つことができる、文化としての家づくりを目指していきます。



東洋医学



「西洋医学」というより「東洋医学」。
痛みがあらわれてから、その表層だけに対処するのではなく、痛みの根本をたどって改善し、さらには「薬食同源」にもとづき、食や住環境など日々の暮らしそのものを健康的にしていくなことが大切だと考えています。



物事の根本的な性質・要素

本質

「現象」というより「本質」。
目の前に起こっている問題や課題にはきちんと対応しながら、常に物事の根本的な性質や要素の把握に努め、本質を追求していくことを忘れずにいたいと思います。

自然的

「人工的」というより「自然的」。
無垢・無塗装の音響熟成木材が代表するよう、カイケンの健康自然建材は、自然の恵みをそのまま生かしたものです。人の知恵や技術は、自然の力を引き出すためにこそあります。



生まれる

受動的に「作られる」というより、能動的に「生まれる」ということ。
私たちの健康自然建材は、余計なものを加えるなどして「作る」というより、自然の力を生かして「生み出す」というアプローチを基本にしています。

個々の体験にもとづく

Narrative Based



証拠にもとづいたり、科学的根拠があったりする「エビデンス・ベース」というより、個々の体験にもとづいた「ナラティブ・ベース」であること。
空気がうまい家で暮らすようになられてからアトピーや体の具合が改善された方々の体験談など、実際にお住まいのみなさまのお声を何よりも大切に、学ばせていただきます。

「自然環境蘇生」という理念のもと、自然素材の家づくりを通じて「健康的で気持ちのいい自然を楽しむ暮らし」という「体験価値」をみなさまにお届けしていくこと。
このミッションの達成に向けて、カイケンコーポレーションは、これから一步一步、真摯に進んでいきます。

空気がうまい家 全国体感録 ● 鹿児島県 さつま見学工場

全国に広がる音響熟成木材・幻の漆喰・清
活量を使用した家族にやさしい「空気がう
まい家」の魅力をご紹介します

自社プレカット設備で
ナチュラル品質の木材を
スムーズにお届けします

さつま第2工場に設けたプレ
カット設備によって、工務店の
みなさまの細かなニーズにお応
えできるようになりました。



MORE
INFORMATION
◀ さつま見学工場
WEBはこちらから



鹿児島県薩摩郡さつま町の緑深い森の中に位置するカイケンコーポレーションのさつま見学工場（写真左）。
モデルハウスエリア（写真右）には、コンセプトハウス、ハイクレイドモデルハウス、ゲストハウスがあります。



The Grace of Nature & Time
in The Satsuma Forest House

自然の恵みの心地よさと経年変化を体感できる森の家

鹿児島県 | さつま見学工場



最新のプレカット設備を設け、加工場も併
設した「さつま第2工場」（写真上／下）。



緑深い森の工場から、
自然の恵みを凝縮した
健康自然建材を届けます
2020年にプレカット設備を持つ
さつま第2工場が誕生。カイケンのは、緑
の風が香るさつまの森の工場から、自然
の恵みの素晴らしいさを感じていただけ
る健康自然建材をお届けしていきます。



ゲストハウス（写真左上）には、セミナールーム（写真右下）やミーティングルーム（写真左下）のほか、
「木育」の場などとして活用いただける工作室も設け、みなさまに価値ある時と場を提供しています。

空気がうまい家の
ふるさとへ、ようこそ
2007年に誕生した、カイケンコー
ポレーションのさつま工場。創業15周
年・設立10周年の節目となった201
4年にモデルハウスエリアを増設し、見
学や体感宿泊もできる見学工場として
新たに生まれ変わり、全国から多くのみ
なさまにお越しいただいています。



10年の時を経て同じ位置から見たLDK（写真上：2024年／写真右下：完成時の2014年）。無垢・無塗装のフローリングの経年変化は、足裏から伝わる心地良さでもご体感いただけます。音響熟成木材「黒」を使ったキッチン（写真左下）。美しいツヤが出た天板（写真下左）と食器棚（写真下右）。各居室も自然素材のナチュラルな経年変化で、居心地の良さがさらに深まっています（写真右下）。



2014

自然が語りかけ、考えさせ、
体感させてくれること

1845年の夏、米国北東部ボストン近郊の森の中のウォールデン湖のほとりに小屋を建て、たった一人で自給自足的な暮らしを始めたヘンリー・デイヴィッド・ソロー。2年2ヶ月と2日にわたったその暮らしは『ウォールデン森の生活』という本にまとめられ、今も世界中の人々に読み継がれています。「自然」は、多くのことを私たちに語りかけ、広く深く考えさせてくれます。



さつま見学工場モデルハウスの
動画でのご紹介はこちらから▼



緑深いさつまの森の中に、自然素材だけで生み出された空気がうまい家のコンセプトハウスは、誕生から10年の時を経て、自然の恵みの心地よさと、時の流れが目に見えるような経年変化を併せてご体感いただけるようになりました。ソローが語った森の生活のように、自然素材の家で暮らすことは、生活そのものが楽しみでいつも新鮮に感じられる、という日々の新たなあと、ご実感いただけます。



杉の赤身材を使った音響熟成木材のバスユニット仕様のお風呂や洗面室など、気になる水まわりの経年変化もお確かめいただけ、木の香りが心身を癒すご入浴もご体感できます。



10 Years Natural Value

さつま見学工場モデルハウスエリアの「ハイグレードモデルハウス（写真上）」は、約100坪の特別仕様です。子育て世代にもお求めやすい25坪の平屋建てが標準プランとなる「コンセプトハウス（写真下）」は体感宿泊が可能で、その心地良さをご実感いただけます。



コンセプトハウスのLDKは、変わらない木の香りと漆喰壁の白の風合い、歳月がなめらかなツヤを生み出した音響熟成木材の質感が印象的（写真左）。玄関の土間漆喰のたたきもいい味を出しています（写真右）。誕生から10年の歳月が流れたさつま見学工場のモデルハウスは、自然素材の「あるがまま」の経年変化をお確かめいただけます。

施主様からの特別寄稿
四季めぐる
空気がうまい家
文◎渋谷浩一郎様

古いけれども綺麗を目指す

京都府宇治市で空気がうまい家にお住まいの渋谷様ご家族。
四季めぐるその暮らしを、
施主様ならではの
エッセイとしてお届けいたします。

Old but Beautiful



床を磨く前のリビング(左)と磨いてみた後のリビング(上)。

春

があつたのかなあ？なんて思うほど、桜が咲いてからは一気に暖かくなってきたように感じます。

そうすると、子ども達の気分はもう夏休みのことで頭がいっぱいの様です。

この夏には、アメリカから様々なご家族が、我が家に遊びに来てくれることになつていたので、アメリカの子ども達にこんな質問をしたことがあります。

「日本に行ったらどんなことをしてみたい？」

この答えが、あまりにも意外で面白く感じられました。

- ・コンビニに行つておいしいおやつを買つて食べたい。
- ・本場のお寿司が食べてみたい。
- ・古い建物を見るのが楽しみ。

日本と言えば神社仏閣のイメージが強いので、清水寺とか金閣寺などに関心があるのかなあ？と思つたのですが、どうやらそういう意味ではなさそうです。

「新しいお店やビルが並んでいるところにも、その隙間に古い神社や古い家があるでしょ。普通なら、それが変な感じに見えるはずなのに、変じゃないのが不思議で、面白いなあって思うんだ。古い

けれども、綺麗で格好いいから、ゆっくり見てみたいんだ。」

私は、こんなことを思つたこともないので、とても新鮮に感じたのです。きっと、古いものも違和感なく受け入れる街や人の雰囲気が入つたのでしょう。

私は、こうした会話の中でも「古いけれども、綺麗で格好いい」というフレーズがえらく気に入つてしまい、ある行動を始めたのです。

我が家の寿司桶は三十周年 ダイニングテーブルは十五周年

「古いけれども綺麗で格好いい」と思えるものと言え、何かなあ？と考えてみると、寿司桶が一番に思いつきました。

学生の頃に買ったもので、特別高価なものでもありません。また、美味しい魚が入つた時には、お寿司を楽しんできたために、月に一度程度は、普通に使つてきたものです、まずまず綺麗な状態です。

また、ダイニングテーブルは、現在の住まいに引越して以来、毎日のように使つてきました。特に子どもが小さい頃は、お茶やお味噌汁

などをこぼしたこともありますし、お醤油がこぼれてしまうなんてことも多々ありました。

両者ともなかなか過酷な条件ではありますが、「古いけれども綺麗」を維持してくれているように感じます。

当たり前のことですが、両方とも使つたあとに、洗ったり、拭いたりしてきただらうと思います。



長年使っている寿司桶と、ダイニングテーブルの天板。暮らしが付けたいい味が出ています。

江戸時代には「樽拾い」という仕事があつた

樽や桶は、現代のように、プラスチックの容器が普及するまで、様々なところで使われてきました。井戸水を汲み上げる桶・農業用の桶・酒樽・味噌樽：あらゆる場所で使われてきたようですが、どれもかなり過酷な条件で使われるために、壊れてしまうことも珍しくありません。

そんな壊れた桶や樽を「樽拾い(たるひろい)」と呼ばれる方々が回収し、職人が薄く表面を削り、綺麗にして組み直す。こうして、ひとつのものを使い続けてきたそうです。

ですから、最初は酒樽だったものが、後に味噌樽として使われるようになったというものも珍しくないそうです。

知人の家具職人の方もこんなことを言われていました。

「よし！我が家も古いけれども綺麗」を目指そう

我が家も暮らし始めてから、十五年の年月が流れました。

毎日、拭いてきたダイニングテーブルは綺麗ですが、キッチン天板は曇り、床は少し黒くなつてきています。もちろん、床の若干の黒味は、味わいとして残してもいいので、本当に「古いけれども綺麗」を目指していいのか：かなり思案しました。

ですが、床に使われている音響熟成木材の古く汚れた端材を、少し磨いてみて、決意することができました。

「古いけれども綺麗を目指す」

そう決めてから、床を少しずつ磨いていきました。手作業で丁寧に、少しずつ磨いていきましたから、地味な作業が長々と続



天板を磨いたキッチン。湯呑みが鏡面仕上げの天板に綺麗に写り込んでいます。

本当に大切なこと

現代は、とても豊かな時代で、新しく綺麗なものを手にいれることが容易になりました。

けれども、床やキッチンを磨く：なんていう地味な作業をすると、それを作った人の知恵や技術にほんの少し迫ることができるようになるのです。

綺麗という結果も嬉しいことですが、知恵や技術に少し迫れたかも：という感覚が得られたことが大きな収穫でした。



磨いた椅子(右)と磨いていない椅子(左)。どっちもいいですね。

日本の街中に、新しい建物と古い建物が混在しても違和感がないのは、きっと「古いものをずっと使い続ける」という文化が、まだ残っているためなのかもしれないなあ：なんて思うのです。

古いものを古いままだに残すのもよし。一度綺麗にして、また新たな気分で大切に使うのもよし。「どっちもいい」という言葉の意味をより深く感じています。

See you
next time!



◀こちらでも渋谷さんのコラムがお読みいただけます [カイケン 自然発信基地] で検索

季節を味わう

おもやの

食卓

なんでもいつでも揃う
いまこの時代に、
あらためて「旬」のものを
見直してみたいと思います。
旬のものは、体にいいし、
なんといっても、
みんなでおいしく
いただけますから。



夏の旬食材 とうもろこし

米・小麦と並んで世界三大穀物のひとつとされる「とうもろこし」。年間12億トン近くにもなる生産量は、小麦（穀物2位）、米（同3位）を上回り、生産国は多い順にアメリカ、中国、ブラジルと続きます。イネ科の一年生植物でいろいろな品種があるとうもろこしは、食料や

飼料のほか、デンプン（コーンスターチ）、油、バイオエタノールの原料などとしても重宝され、世界の人々に欠かせないものになっています。一般的に「とうもろこし」と言えば食用の「スイートコーン（甘味種）」という品種を指し、今回のレシピもスイートコーンを使います。

思い出が
新しくなる
夏の味



たんぱく質、食物繊維、ビタミンB群、カリウムやマグネシウムなどのミネラルなど、栄養いっぱい夏にぴったりのとうもろこし。

皮付きとうもろこしは、「鮮やかで濃い緑色の皮」と「褐色・黒褐色のひげ」が選ぶ時のポイントです。茹でて焼いても美味しいとうもろこしですが、この夏のレシピはちょっと趣向を凝らして「とうもろこしのフアラフェル」。

本来はひよこ豆でつくる中東のロケ「フアラフェル」を、とうもろこしで作ります。



とうもろこしの甘味に、ニンニクやスパイスの風味を加え、さっぱりしたヨーグルトソースでいただく、おかずにもおつまみにもなるヘルシーでオリエンタルな一品です。中東のソウルフードともいわれるフアラフェル。穏やかな夏であることを願いつつ、お試しください。

料理 柴田 佳世子

福岡県福岡市生まれ。京都女子大学短期学部家政学管理卒業後、同大学の家政学部食物栄養科研究室勤務。福岡市のフードプロデュース会社を経て、2005年に独立。レシピ作成、フードコーディネート、料理教室、イベント、レストランなどへのメニュー提案、食育講演活動など、食と料理の様々な分野で幅広く活動中。



外はカリッと中はホロホロの食感で、とうもろこしの甘味にニンニクやスパイスの風味が効いた、この夏新しいおすすめの一品。

わがふるさとにもコロンブスみやげ

コロンブスが新大陸からスペインに持ち帰り、ヨーロッパ、北アフリカ、中近東、アジアへと伝わっていったとうもろこし。日本へは、450年以上前の安土桃山時代に伝来したといわれますが、当時は「玉蜀黍」と書いて「なんばんきび」と呼ばれていたそうです。茹でたとうもろこしは、蒸かしたさつまいもと並んで、昭和の田舎の懐かしいおやつ。「こうらい」、「なんば」、「とうきび」など、日本各地でいろいろな呼び方があるようですが、みなさんのふるさとでは、どんな呼び方をされていたでしょうか。



とうもろこしのファラフェル
レシピはウェブで紹介しています



<https://e-kaiken.com/sain/omoya/>

Sain
ESSAY

続けることの喜び

「続けてきて良かった」

このSAINが20周年を迎えるにあたり、真っ先に心の底から湧き出てきた感情です。

会社設立とほぼ同時期にスタートした、健康な暮らしのサインを皆様にお届けするプロジェクト。

家と健康の関わりを私たちなりの解釈で発信しながら、自然が大好きな方たちの日常にほっこりとしたひと時の幸せを感じていただけるように、ジャンルの垣根を少しずつ越え、そして根っこのコンセプトは私たちのホームポジションとして常に真ん中に意識し、その思いを誌面へと注ぎ込んできました。

少し昔話をする、この自社発刊の情報誌を作る、ということに関して、そもそも未経験の状態からのスタートだった

こともあり、最初の頃は全てにおいて探り探りの状態で、決して高いクオリティを出すことはできませんでした。が、良い意味でそれが素朴で存在を身近に感じていただけるような誌面の表情を作ってくれていたのかな、と振り返ってみて感じます。

今となって考えると、そういった条件だったからこそ、真っ直ぐに続けてこれたと思えるし、愛着を感じていただける「SAINの人格」を形成する原点になったのかな、とも思えます。

このSAINを通じて、本当に多くの方々との出会いやコトとの出会いを経験してきました。

私たち自身、成長できた部分も大きいですし、直接にダイレクトなきっかけにはならなくても、心の片隅に、これからの将来で大切な選択をする際の新たな扉



浦上 日章
Text by
Urakami Nissho

が形成されれば良い、そういう微かなきっかけになれば、という思いを込めてきました。

そしていつの日か、SAINに出会ったことがキーとなり、誰かにいつか訪れる選択肢のロックを外してくれるような、記憶に刻まれる存在になれば、何よりも嬉しい限りです。

続けることの喜びは、続けてみないと分からない。

続けてみて初めて出会える喜びは確実にある。

これからも一步を着実に踏みながら、続けることの喜びを、続けていきたいと思えます。

皆様のご愛読に心からの感謝を申し上げます。

いつも本当にありがとうございます。



無添加 というだけでは 健康住宅 と言えない？

では、全ての原料・成分が無添加であれば安全なのでしょうか？

また、私たちが日々住まう家考えたときはどうでしょうか。やはりすべて無添加とは言えません。住宅の内部を可能な限り木や漆喰などの自然な材料で作ったとしても、お風呂、キッチン、トイレ、サッシ、換気扇、照明などの設備機器は化学建材になるでしょうし、木の表面は何か塗っているのではないのか、また塗っている場合、その塗料は安全なのか、使用されている接着剤・防蟻剤は大丈夫なのかなど。さらに木の原産国はどこなのか？ 素材は天然そのままなのか？ 内壁の材料は？ などなどたくさん疑問が生まれてくるでしょう。

また、全くの自然のものであっても、木を糊で固めた集成材であっても、海外から入ってきて薬品づけになっていても、表面に何か塗ってあっても、防腐剤や糊が使用されている珪藻土も、自然素材がひとつでも入っていれば、その商品は全て自然素材という枠の中にくくられてしまいます。家においては「自然素材」≠「無添加」というイメージも強いでしょうが、どちらにしても定義は曖昧なのです。

それでも出来る限り自然に近い無添加といえる家を建てたとして、安全で健康であるといえるのでしょうか。花粉症やアトピーなど、何かしらのアレルギーを持つ人

口は3分の1以上ともいわれ、シックハウス症候群や化学物質過敏症も増えている現在、食べ物や水、日用品だけでなく、家づくりにおいても家族や自分の体のために健康を考えている方が多くなっています。

ビニールクロスが主流だった壁も、和紙や漆喰・珪藻土などの呼吸する素材が増え、合板使用の新建材から天然無垢材の床が増え、化学建材から発生するガスをなくそうと無添加で健康的な素材が選ばれるようになりました。しかし、本当の健康住宅かどうかの判断も難しいし、無添加だけでは健康な家とはいえないのです。

生活をしていく上で必要なもの、家具・家電・衣類などの生活必需品なくしては、ほとんどの方が不便と思われることでしょう。では、家具・家電・衣類などの生活必需品から化学物質のガスが放散していることはご存知でしょうか？ それらを無添加の家にいれてしまうとどうなるか…。もう答えはお分かりですね！ そうです、無添加の家は放散されたガスを吸収してしまい、今までと同じ不健康な家になってしまいます。

では、どうすれば本当に健康な住宅をつくることができるのでしょうか？ そのためには、様々なものから放散されているガスをきれいな空気に変えていく必要があります。

ます。そうすることで、本当に健康な住宅が生まれるのだと考えています。

私たちが理想とする「きれいな空気」とは、

自然の力が生み出す空気です。森の緑の中や海を見晴らす砂浜で、私たちは「空気が気持ちいいなあ」と感じます。それは、日頃はつい忘れてしまっている「人も自然の一部」ということを思い出すから、なのだろうと思います。

自然の中で感じる「気持ちいい空気」を住空間でも感じる事ができたなら、いちばん居心地のいい家になるのではないだろうか…。そんな思いから「家は、空気で建てる」という発想が芽吹き、自然の息吹が香る気持ちのいい空気の中で、ご家族の心と体に幸せが満ちていき、いつまでも心地よい日々をお過ごしいただける「空気がうまい家」が生まれました。

私たちは、いつまでも心地いい空気環境の住まいで、ご家族が心も体も健康に過ごしていただける暮らしを、ご提案していきたいと考えています。



幻の漆喰®

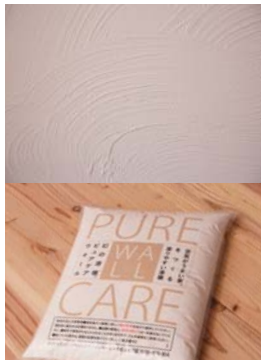


天然の空気清浄器

有明海の赤貝や銀杏草（海藻）などを使った完全天然素材の壁材。光と熱に反応する独自の光熱触媒作用を持ち、半永久的に室内の化学物質や有害物質を吸着・分解して住空間の空気を清浄に保ちます。ホコリも減ってお掃除もラクに。

幻の漆喰® ピュアケアウォール®

幻の漆喰を塗りやすくモダンに鉱物を原料とした天然素材を使用し、光熱触媒の技術で生成。原型となる幻の漆喰と同じく、化学物質の分解力に優れ、さらに今後の左官職人不足にも対応できるよう、塗りやすく仕上げています。



幻の漆喰® そとかべ

光熱触媒作用で「経年美家」を実現

外壁専用の幻の漆喰「そとかべ」は、光熱触媒技術を利用して汚れやすい外壁材をクリーンに保ちます。耐水・耐熱・耐変色・耐緑色化および耐カビ試験により、強靱さや耐久性を証明。時と共に味わいを増す経年美家の住まいを実現します。



音響熟成®木材



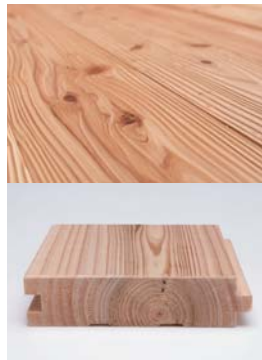
免疫力をアップする木「財」

南九州産の杉を、クラシック音楽を聴かせながらじっくりと常温で音響熟成したこだわりの木材です。木が本来持っている油分やエキスが残し、防菌・防カビなどの作用に加え、人間の免疫力をアップする働きがあるとされています。

音響熟成®木材 うづくりの床

素足にやさしく心地いい床材

「うづくり」とは、木の年輪を浮き上がらせる加工法。自然な凹凸が足裏を心地良く刺激して血行を良くし、冷え症の方もご安心頂け、こどもたちの扁平足予防にも効果的です。また、凹凸が室内の光を拡散して目に優しく、眼精疲労を和らげます。



竹炭入り清活畳®

さわやかで清々しい健康的な空間に

6畳2間でドラム缶1本分の竹炭が入った「清活畳（せいかつだたみ）」。



最新情報はWEBサイトで <https://www.e-kaiken.com>

自然の恵みを生かした素材で住むほどに愛着がわく心地いい家づくりをお考えの方、花粉症やアレルギー、シックハウスなどでお悩みの方、ぜひご覧ください。



それぞれのみなさまの暮らしをご紹介します

私たちの空気がうまい暮らし



自然の恵みでつながる人・住まい・暮らしのメディア



自然を楽しむ暮らしの知恵をみんなでシェア



SAiN 読者アンケート ぜひアンケートにお答えいただき、プレゼントご応募ください！

ご愛読いただきありがとうございます。これからも読者の皆様にますます喜んでいただける情報誌『SAiN』にしていくなために、どうぞアンケートにご協力をお願いいたします。お名前・生年月日・性別・ご住所・TEL・職業・『SAiN』裏表紙に記載されている「正規取扱店名」をご記入の上、アンケートにお答えいただき、下記宛先までご応募ください。下のアンケート専用ハガキ・WEBでもご応募できます。

Q1 『SAiN』を知ったきっかけは？
①セミナー ②見学会・展示会 ③DM ④友人・知人からの紹介 ⑤その他

Q2 「健康住宅」のイメージは？

Q3 いちばん印象に残った記事は？（番号をご記入ください）
①表紙 ②P1. はじめのSAiN ③P2. 目次 ④P3・4. [特集]KAIKEN POSITION 私たちが提供できる価値 ⑤P5・6・7・8. 全国体感録（鹿児島県 さつま見学工場） ⑥P9・10. 施主 渋谷浩一郎様エッセイ ⑦P11・12・13. おもやの食卓 ⑧P14. SAiNエッセイ ⑨P15. 「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない？ ⑩P16. KAIKENブランド ⑪P17. こだわりプレゼント ⑫P17. 編集ほのぼの後記 ⑬裏表紙 ⑭その他（ ）

Q4 役に立つと思われる記事はどれですか？（「Q3」の番号よりお選びください）

Q5 今後取り上げてほしいテーマ **Q6 『SAiN』へのご意見・ご感想**

Q7 ご希望のプレゼント番号とプレゼント名（第1・第2希望まで）

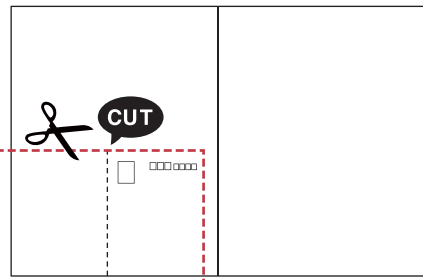
●ハガキ応募先 〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5
カイケンコーポレーション(株)「SAiN」夏号vol.8! プレゼント係
●WEB応募先アドレス ＊スマートフォンは右のバーコードから
https://fkfb.f.msgs.jp/webapp/form/21221_fkfb_2/index.do
※ご当選者の皆様の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



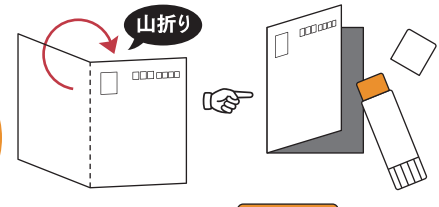
ご応募締切
2024年
8月18日
当日消印
有効

アンケート専用ハガキの使い方

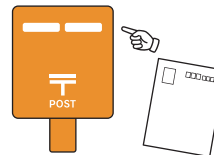
1 ハガキにご記入いただいた後、切り取り線に合わせて、ハガキを切り取ります。



2 切り取ったハガキを山折りにし、中面にのりをつけ、貼り合わせます。



3 記入漏れがないか確認いただき、郵便ポストへ投函ください。



こだわり ✕ プレゼント

※ご応募締切 2024年8月18日（日）



1名様

1 音響熟成木材手づくりテーブルセット

音響熟成木材手づくり家具の中でも人気が高い、テーブルと椅子のセット。使い込むほど木肌がなめらかになり、美しいツヤも出て、時とともに愛着が増していきます。写真のデザインで、寸法調整につきましてはご対応させていただきます。

※当選者様決定後の製作となります



2名様

2 音響熟成木材とコハルライトのコラボライト

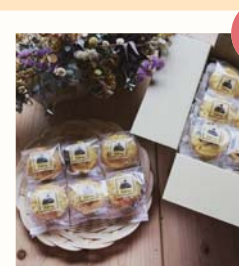
特製和紙シートを組み立てると、桜の花びらが立体的にうきあがる素敵なインテリア照明器具「コハルライト」。さくら色と電球色に切替でき、2つの違う雰囲気が楽しめます。このコハルライトと音響熟成木材の手づくりスタンドをセットにした特別コラボアイテムです。



3名様

3 オーガニックワイン リースリング ペーレンアウスレーゼ 白

特別な年にだけ作られる、オーストリア・クレムスタールのデザートワイン。淡くゴールドを帯びて輝くイエローの色。華やかで甘い気品が漂う、熟してとろけそうな果実の香り。そして、幸福な余韻を長く残す、上品で繊細な甘口の味わいがお楽しみいただけます。



5名様

4 米粉マフィン コトリエ マフィン詰め合わせ

宮崎で空気がうまい家づくりを行われている建築工房結さんの体感スペース「kotorie」から届けられる米粉マフィン。国産米粉と卵、植物油、きび砂糖をベースに、添加物は最小限に抑え、無農薬や減農薬の野菜やフルーツを組み合わせて、丁寧に焼き上げられています。

ご当選者の皆様の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

キリトリ

(フリガナ)	生年月日 年 月 日
お名前	性別 (男性 ・ 女性)
ご住所 〒	
お電話	
Eメール	メールマガジン配信 ☐ 希望 ☐ 希望しない
ご職業	会社員・公務員・自営業・学生・主婦・その他

『SAiN』を知ったきっかけは？（番号を○でお囲みください）

① セミナー ② 見学会・展示会 ③ DM ④ 友人・知人からの紹介 ⑤その他（ ）

「健康住宅」のイメージは？

いちばん印象に残った記事は？（番号を○でお囲みください）

①表紙 ②P1. はじめのSAiN ③P2. 目次 ④P3・4. [特集]KAIKEN POSITION 私たちが提供できる価値 ⑤P5・6・7・8. 全国体感録（鹿児島県 さつま見学工場） ⑥P9・10. 施主 渋谷浩一郎様エッセイ ⑦P11・12・13. おもやの食卓 ⑧P14. SAiNエッセイ ⑨P15. 「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない？ ⑩P16. KAIKENブランド ⑪P17. こだわりプレゼント ⑫P17. 編集ほのぼの後記 ⑬裏表紙 ⑭その他（ ）

役立つと思われる記事は？ 上の質問の回答番号よりお選びください >

今後取り上げてほしいテーマ

『SAiN』へのご意見・ご感想

ご希望プレゼント番号と 第1希望
プレゼント名をご記入ください 第2希望

※アンケートにご協力ありがとうございました。ご当選者様の発表は発送をもって代えさせていただきます。

山折り

料金受取人払郵便

城南局
承認

708

差出有効期間
令和6年4月1日
から令和8年3月31日まで
<切手不要>

郵便はがき

814-0190

福岡市早良区野芥2-27-5
カイケンコーポレーション(株)

『SAiN』夏号vol.8! プレゼント係



ご愛読頂きましてありがとうございます。
アンケートにご記入いただきましてご応募ください。

この『SAiN』の裏表紙に記載されている
正規取扱店名を下記にご記入ください

※お預かりした個人情報は、カイケンコーポレーション(株)と正規取扱工務店からのイベントや見学会のご案内、本やプレゼント発送、アンケート集計以外には利用いたしません。尚、お客様の個人情報は厳重に管理し、第三者に譲渡することはありません。

キリトリ



SAiN 編集部 浦上日章



and Now 2024

20周年を無事に迎えられたこと、まずは皆様に心より感謝です！スタートした頃の原点を振り返りながら、この時代だからこその他者との温度感が伝わる繋がり方の大切さを、これからも私たちなりのペースで表現できたらと思っています。新しい時の流れを変わらず皆様と一緒に楽しんでいたなら何よりです。

Memories of 2017



KAIKEN corporation

◎お問い合わせはフリーダイヤルでお気軽に（9:00～17:00 ※土日祝/休）カイケンコーポレーション株式会社

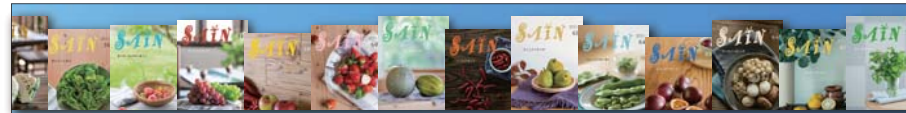
0120-874-814

●本社/〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5

●電話/092(874)6110 ●FAX/092(874)6113

◎最新情報はWEBサイトでどうぞ <https://www.e-kaiken.com>

カイケンコーポレーション



SAiN

バックナンバーもご覧いただけます

●「空気がうまい家」「音響熟成木材」「幻の漆喰」「幻の漆喰ビュアケアウォール」「清活量」はカイケンコーポレーション株式会社の登録商標です。●商標登録「空気がうまい家」登録第5700454号取得/「音響熟成木材」登録第4739348号取得/「幻の漆喰」登録第4739347号取得/「幻の漆喰ビュアケアウォール」登録第5672190号取得/「清活量」登録第4827042号取得●「空気がうまい家」「音響熟成木材」「幻の漆喰」「幻の漆喰ビュアケアウォール」「清活量」は正規取扱店でのみお取り扱いしています。類似品にご注意ください。お取扱工務店等はWEBサイトでお確かめいただけます。

時を超える価値のある暮らし

The Timeless Life



Safety & Healthy
空気がうまい家®
さつま見学工場

SAIN 2024 SUMMER ISSUE vol.81

発行 ● カイケンコーポレーション株式会社

〒814-0171 福岡市早良区野芥二の二七の五

電話 〇九二(八七四)六一一〇

© KAIKEN Co. All Rights Reserved.

季刊 年4回 3月、6月、9月、12月発行

※無断転載・複製を禁じます

お問い合わせは ● カイケンコーポレーション健康自然建材 正規取扱店